

102-126

問題文

C型肝炎ウイルス(HCV)感染歴と肝細胞がん発症の関係を調べるため、ある病院において、肝細胞がんの患者100人、及び対照群として性・年齢・喫煙歴・アルコール摂取歴をマッチングさせた別の病気の患者200人を選び出し、抗HCV抗体の有無を調べた。

その結果、肝細胞がん患者の80人、対照群の20人が抗体陽性者であった。この調査から求められる肝細胞がん発症におけるHCV感染歴のオッズ比として、正しいのはどれか。1つ選べ。

- 1. 4.0
- 2. 4.9
- 3. 8.0
- 4. 16
- 5. 36

解答

5

解説

与えられたデータをまとめると以下の表になります。

	肝がん あり	肝がん なし
抗体陽性	80	20
抗体陰性	20	180

オッズ比を求めると、 $ad/bc = 80 \times 180 / 20 \times 20 = 4 \times 9 = 36$ です。

従って、正解は 5 です。

参考)